

競技注意事項

1 規 則

本大会は、2025 年度(財)日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項によって行う。但し、競技運営、施設等の条件により、代表者の話し合いによって変更することがある。

2 競技場及び練習会場

- (1) 主競技場の競走路及び助走路は全天候型である。スパイクピンの長さは 9 mm 以内とする。
また、スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は 4 mm 四方の定規に適合するようなものとする。
- (2) 練習は球技場で行う。又、競技に支障のない範囲で競技場内で行うことができる。
その場合は係員の指示に従うこと。(バックストレートの逆走は厳禁)
- (3) ベンチや招集時、ウォーミングアップ時など、出来るだけマスクを使用すること。

3 招 集

- (1) 招集完了時間・・・トラック競技 15 分前
フィールド競技 40 分前(棒高跳は 60 分前)
- (2) 招集場所・・・トラック競技：スタート地点
フィールド競技：競技場所

4 アスリートビブス

- (1) アスリートビブスは胸と背に一枚ずつ確実につけること。アスリートビブスの大きさ、数字の大きさ、太さは基準を満たしたものを各団体で作成し使。ただし、走高跳、走幅跳に出場する競技者は胸または背に一枚つけるだけでよい。
- (2) 今回は長距離種目でも、各自でアスリートビブスを用意して競技を行う。
- (3) 腰ナンバーは 800m 以上の距離の種目で使用し、主催者側で準備する。
返却の必要はない。

5 競技について

- (1) トラック競技では、すべて写真判定装置を使用する。
- (2) 競技規則 TR16.6～TR16.8 により、不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。
- (3) スターターの合図は英語とする。
- (4) 跳躍種目(除：走高跳)、投擲種目の試技は 3 回とする。
- (5) 選手のウォーミングアップは指定された場所で行う。
- (6) 選手は見苦しくない服装や言動で出場する。
- (7) リレーで使用したマーク(テープ等)は各団体が責任を持って除去すること。
- (8) 同時に複数種目に出場する場合は、審判員に申し出て指示を受ける。

6 跳躍競技のバーの上げ方

走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。但し、雨天等の場合は変更もある。

	練習		最初の高さ								
走高跳	男子	1.30									
		1.70	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	以後は3cm
	女子	1.10									
		1.50	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	以後は3cm

7 競技用具

- (1) スターティングブロック、リレーのバトン主催者側で用意したものを使用する。
- (2) 砲丸、円盤、やりは原則として競技場備え付けのものを使用する。
- (3) やりは検査をして使用を認める場合もある。

8 その他

- (1) 競技者は競技の進行に積極的に協力する。
- (2) 貴重品は各自、各団体で責任を持って保管し、盗難・紛失などに十分注意する。
- (3) 荒天等により出場者が減った場合は、プログラムを変更する場合がある。
- (4) 大会出場中の映像、写真、記事、新聞、雑誌、インターネット等の掲載権は主催者に属す。
- (5) 公園内につき火気厳禁である。喫煙は決められた場所で行う。
- (6) ゴミの処理は各自責任をもって行い、必ず持ち帰ること。
- (7) 管理棟内は、役員以外出入り禁止とする。
- (8) 大会参加に際して提供される個人情報本記録会に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。
- (9) 公認記録証は、一通 **300 円** で発行する。正面玄関もしくは会議室にて受け付ける。

開	場	7 : 0 0
受	付	7 : 1 5 ~
役員	打合	8 : 1 5